

【特集③】挑戦する企業文化の醸成

当グループでは、社員が夢と誇りとやりがいを持って働ける職場環境を提供するため、健全な企業風土・文化の醸成に努めています。

毎年実施する社員意識調査で明らかになった社員の満足度や活性度の伸び悩み、経営層と社員のコミュニケーションギャップの解消に向けて、以下の取り組みを進めています。

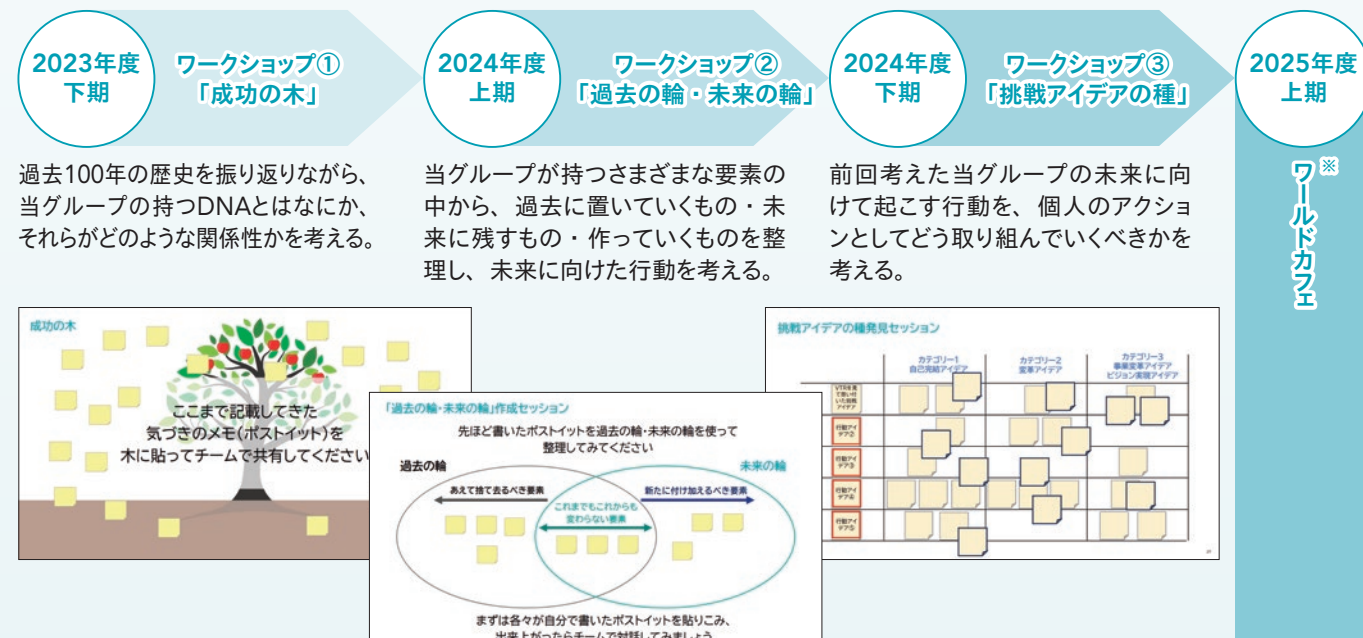
①創業100年を契機とした挑戦する企業文化づくり

(1)社員ワークショップ

2024年の創業100年を機に、社員が主体となって運営するワークショップを継続的に実施しています。

このワークショップを通じて、グループへの理解を深め、

ステークホルダーへの感謝を再確認するとともに、今後の100年も発展し続ける企業であるために、「失敗を恐れず挑戦し、失敗したとしても学び、成長する」という文化を築くことを目指しています。



※カフェのようにリラックスした雰囲気の中で参加者が決められたテーマについてメンバーを変えながら対話し、組織内コミュニケーションを活性化させる方式。

～ワークショップに参加した社員の声～



普段改まって話すことのない過去・現在・未来について対話できてよかった。



前向きな挑戦を志す企業風土が浸透してほしい。



会社への理解が深まった。



会社自体の変革にも期待。

(2)ワールドカフェ

2025年6月、全国のグループ各社・各拠点から集まった約1,000人の社員が参加するワールドカフェを開催しました。

経営層が、挑戦の意義、自身が挑戦したものの失敗した経験、挑戦の先に描く未来像を語り、参加者は、これまでのワークショップも踏まえて考えた挑戦のアイデアについて対話しました。対話を通じて、アイデアの推進方法や挑戦活動を有意義にするための方法を共有し、挑戦に対する理解を深めるとともに、似た挑戦を志す社員同士でネットワークを構築しました。

今後は、参加者が挑戦のマインドやネットワークを各社・各拠点に持ち帰り、経営層を含む会社全体で社員の挑戦をサポートすることで、「挑戦する企業文化」を根付かせていきます。

②インナーコミュニケーションの強化

(1)社長と若手社員の座談会

東京・名古屋・大阪の3拠点で、高倉社長とグループ各社の若手社員との少人数座談会を全6回開催しました。

社員ワークショップの感想や社員一人ひとりの挑戦の取り組み、業務上の課題や今後の展望等についてざっくばらんに語り合い、社長が自らの言葉で若手社員に対し、普段意識していることを語るなど、両者にとって有意義な機会となりました。

(2)社員間・社会とのコミュニケーション

2024年度は、企業ボランティア活動の「トライアル・イヤー」として、さまざまな活動に取り組みました。非営利団体と協働した講演会等を通じて、社会が直面する課題について学び、社員一人ひとりが自分にできることを考え、行動に移すことで、地域社会との交流を深めています。



鎌倉ビーチクリーンアップボランティア

ボランティアサークルの発足

2024年8月、ボランティア活動に関心を持つ社員が集まり、ボランティアサークルを立ち上げました。海岸清掃などの自主的な活動や非営利団体主催の活動への参加に加え、サークルメンバー間でボランティア情報や体験談を共有するなど、業務の枠を超えた社内コミュニティを形成しています。現在は関東圏の社員が中心ですが、今後はグループ各社・各拠点に活動を拡大する予定です。



座談会に参加した若手社員